



とちぎ学生防災サークル 支援事業について

栃木県 公益財団法人栃木県消防協会

1 はじめに

栃木県消防協会では、令和元年度から、地域防災の要である消防団員の加入促進を図るため、若者の地域防災への関心を高める取組として、県内大学等と連携して、学生の消防・防災に関するサークル活動の活性化を支援する「とちぎ学生防災サークル支援事業」を栃木県と連携して実施しています。

地域防災に関心を持つ若者が増えることによって、地域防災の要である消防団や自主防災組織などの充実強化を目指すものであり、その活動内容などについて紹介します。

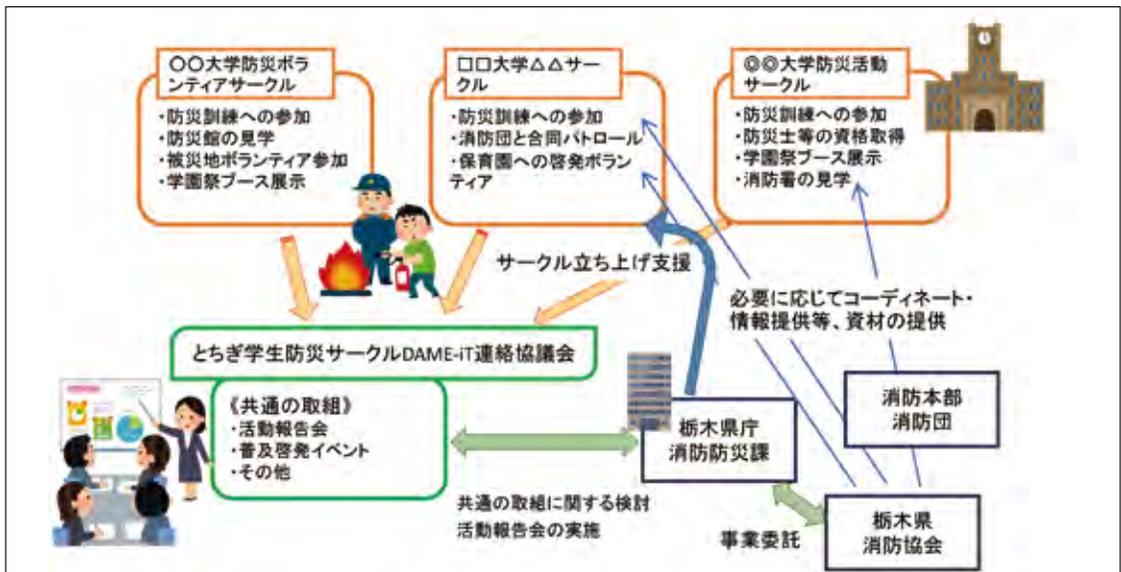
2 事業の概要

本事業には「帝京大学防災ボランティア E R S U」、「作新学院大学防災サークル

tell」、「白鷗大学め組白鷗」の県内3つの学生サークルが参加しています。

当協会では、これらの学生サークルに対し、市町や消防本部（局）、消防団等関係機関との連絡調整などへの支援や、サークル活動に必要な、パトロールベストや腕章、安全長靴などの装備品やレスキュー用簡易寝袋などの資機材の支給を行っています。

これらのサークルはそれぞれのサークルでの活動のほかにも、連絡協議会「DAME-i T」（ディームイット）を結成し、お互いの活動内容についての情報交換や合同の活動の実施など、サークル活動の一層の充実に向けて取り組んでいます。「DAME-i T」とは、Disaster Action MEmber-in Tochigi の略で、決めたことは実行する！という強い意志を表したものです。



とちぎ学生消防防災サークル支援のイメージ図（栃木県県民生活部消防防災課）



作新学院大学 tell



帝京大学 ERSU



白鷗大学め組白鷗



DAME-iTのYouTube
アカウントQRコード

今年度は、連絡協議会を3回開催し、新型コロナウイルス感染状況下での活動報告や効果的なSNSの活用などについて情報交換等を行ったほか、防災施設な

どの合同見学会も実施しました。

また、昨年7月に発生した静岡県熱海市伊豆山地区の豪雨土砂災害に緊急消防援助隊として派遣された石橋地区消防組合消防本部の協力を得て、合同研修会を11月に実施し、本部職員から現地での災害活動等についての講話とともに、緊急消防援助隊車両（重機）の見学なども行いました。

3 とちぎ学生防災サークルDAME-iT連絡協議会の活動状況

昨年度から続く新型コロナウイルスの流行の影響で、サークル活動が思うようにできない時期もありましたが、3団体合同での取組として、各サークルが防災に関する動画を作成し、DAME-iTのYouTubeアカウントにアップロードするといった活動等を実施しています。



石橋地区消防組合消防本部での合同研修会

5 おわりに

学生防災サークルは、まだ数も少なく、新型コロナウイルス感染の影響から活動内容も限られたものとなっていますが、今後とも、こうした活動を支援するとともに、新たなサークルの呼びかけなどを行いながら、より多くの学生や若者に地域防災への強い関心を持ってもらえることを期待しています。

